

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2020年日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。

2. 練習について

- (1) 練習は、指定された練習場を使用する。補助競技場では、トラック競技・跳躍競技(棒高跳を除く)および投てき競技(砲丸投・円盤投・やりの突き刺し程度)の練習を係員の指示に従って行うことができる。
- (2) 競技場内での練習は審判員の指示に従うこと。投てきの練習には特に安全に留意して行うこと。

3. 招集について

- (1) 競技者招集所は、競技場第3ゲート付近に設ける。
- (2) 招集完了時刻は競技時刻を基準とし、下記のとおりとする。

| | 予 選 | 決 勝 |
|---------|------|------------|
| トラックの部 | 20分前 | 15分前 |
| フィールドの部 | | 30分前 |
| 棒 高 跳 | | 60分前(現地集合) |
| 混 成 競 技 | | 20分前 |

- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものと処理する。

(4) 招集の手順

- (ア) 競技者は招集完了5分前に、招集所競技者控所で待機し、最終点呼を受ける。その際、競技者係にナンバーカード・スパイク・衣類・持ち物等の確認を受ける。
- (イ) 混成競技は第1日目・第2日目とも第1種目は競技者係が招集所にて招集するが、それ以降の種目については、混成競技係が混成競技控え室で点呼・確認後、流し記録用紙とともに、各競技場所に誘導し担当審判員に引き継ぐ。(混成競技者控え室は「第2南トレーニングルーム」とする)
- (ウ) 競技者控所は当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
- (エ) 代理人による最終点呼は原則として認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が招集所に2種目同時出場届を提出すること。
- (オ) リレー競技に出場するチームは、その種目の招集完了1時間前までに競技者招集所に用意しているオーダー用紙にオーダーを記入し提出すること。また、決勝においてもメンバー・オーダーの変更の有無にかかわらず、オーダー用紙にオーダーを記入し、招集完了1時間前までに提出すること。
- (カ) 棒高跳の点呼は競技場所で行う。点呼終了後は公式練習に入る(公式練習は助走練習2回、バーをかけて1回とする)。
- (キ) 出場種目を棄権する場合は、招集完了時刻までに招集所に欠場届を提出すること。

4. 競技について

- (1) 競技者は、当該種目以外グラウンド内に立ち入ることはできない。
- (2) 短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (3) トラック競技において、欠場者がでた場合はそのレーンを空けておく。
- (4) トラック競技の判定は、全て写真判定装置(全自動電気計時1/100)で行う。
- (5) 4×100mRの第2・第3・第4走者は、主催者が用意するマーカー(1ヶ所)を使うことができる。マーカーは監察員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。
- (6) 4×400mRの第3・第4走者のバトンの受け渡しは、コーナートップ順に内側より並ぶこと。その後、この順序を変えてはならない。なお、次走者は、テイクオーバーゾーンの内側より走り出さなければならない。コーナートップとは、第3コーナー内側に示された黄色旗を通過した時点のことである。
- (7) フィールド競技者は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側に(走高跳では助走路内)2カ所置くことができる。使用することができるマーカーは、競技役員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。

- (8) 助力については、競技場内での助力は禁止とするが、助言については競技運営ならびに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で認めるものとする。映像を見せることは可能であるが、競技区域内への吊り下げや手渡し等、競技者が視聴のため当該競技エリアから勝手に離脱するような行為は認めない。また、競技者は携帯電話等通信機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- (9) 競技中に起きた競技者の結果または行為に関する抗議は、規則第 146 条に基づき、その種目の結果が正式発表されてから 30 分以内（同一日に次のラウンドが行なわれる種目では 15 分以内）に、本人または当該競技者の顧問が口頭で審判長に申し出ること。抗議に対して審判長は速やかに裁定する。審判長裁定を不服としてさらに上訴する場合は、上訴申立書に必要事項を記入し、預託金 10,000 円を添えて申し出ること。

5. 競技用靴について

スパイクの長さは 9 mm をこえてはならない。また、走高跳およびやり投の場合は 12 mm をこえてはならない。これらのスパイクの直径は、先端が 4 mm 以内でなければならない。また、スパイクの数は 11 本以内であれば何本でもよい。

6. アスリートビブスについて

アスリートビブスは指定された大きさで、ユニフォームの胸部と背部に付けること。折り曲げたり、汚したりしないこと。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸部または背部だけでよい。また、800 m 以上の種目に出場するトラック競技者は写真判定用の腰ナンバーカードを招集所で受け取り、パンツの右後方に付けること。腰ナンバーカードは競技終了後返却すること。

7. 競技場の中に商品名のついた衣類・バッグ類を持ち込む場合について

- (1) 上半身の衣類については製造会社のロゴの大きさは各文字が高さ 4 cm 以内、トータルのロゴの高さは 5 cm 以内で、30 cm² 以内の長方形とする。また、製造会社の表示は前面に 1ヶ所のみとする。校名を表示する場合は前部および後部にそれぞれ 1ヶ所表示できる。
- (2) 下半身の衣類については製造会社のロゴの大きさは高さ 4 cm 以内、面積が 20 cm² 以内のものが 1ヶ所のみとし、校名を表示する場合は 1ヶ所のみとする。
- (3) バッグは製造会社のロゴの大きさが面積 25 cm² 以内のもので、その表示は 2ヶ所のみとする。競技者係に指摘された場合はその指示に従うこと。

8. 競技の抽選ならびに番組編成について

- (1) 予選におけるトラック競技のレーン順、ならびに跳躍・投てき競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。
- (2) トラック競技の決勝ならびに跳躍・投てき競技の決勝については、主催者が公平に組み合わせ、レーン順・試技順を決定する。その結果を記録掲示板に掲示する。
- (3) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいても、この競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても、出場するメンバーのうち、少なくとも 2 人は、リレーに申し込んだ競技者でなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2 人以内に限り、他の競技者と交代することができる。また、リレー競技に出場するチームは、同一デザインのユニフォームで参加しなければならない。
- (4) トラック競技において、プラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者（同着）が出たとき（以下同タイム者という）は、下記の方法で決定する。
- ① 100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mR の同タイム者については、次のラウンドへ進むことができる。レーンが不足する場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。
- ② その他の種目の同タイム者は、次のラウンドに進むことができる。

9. 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具は全て主催者が用意した物を使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポールに限り個人所有の物を使用することができる。個人所有のポールの検査は、招集最終点呼時に跳躍審判員が行う。
- (2) 練習用として個人の用具は競技場に持ち込んではいない。

10. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

*ただし、気象条件、運営等の都合で変更する場合がある。

| | | | | | | | | | | | |
|-----|----|----------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------------|
| 走高跳 | 男子 | 1m45(練習) 1m75(練習) | 1m50 | 1m55 | 1m60 | 1m65 | 1m70 | 1m75 | 1m80 | 1m83 | 以降1人残るまで3cm |
| | 女子 | 1m20(練習) 1m40(練習) | 1m25 | 1m30 | 1m35 | 1m40 | 1m43 | | | | 以降1人残るまで3cm |
| 棒高跳 | 男子 | 3m20(練習) 3m80(練習) 4m40(練習) | 3m40 | 3m60 | 3m80 | 4m00 | 4m10 | | | | 以降1人残るまで10cm |
| | 女子 | 2m60(練習) 3m40(練習) | 2m00 | 2m20 | 2m40 | 2m60 | 2m70 | 2m80 | | | 以降1人残るまで10cm |

- (1) 走高跳・棒高跳の決勝で最後の一人になり優勝者が決まるまで、上記のバーの上げ方とする。
(2) 第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。

11. 混成競技におけるバーの上げ方

走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。但し、状況により変更する場合がある。設定より低い高さを希望する場合は練習開始前に申し出ること。

| | | | | | | | | | |
|------|----------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 男子八種 | 1m35(練習) | 1m40 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | 1m60 | 1m63 | | 以降3cm |
| 女子七種 | 1m05(練習) | 1m10 | 1m15 | 1m20 | 1m25 | 1m30 | 1m33 | 1m36 | 以降3cm |

12. 競技場の入退場について

- (1)トラック競技の競技者の入退場は、係員の指示に従うこと。
(2)フィールド競技の競技者の入退場は、係員の指示に従うこと。
(3)フィールド競技の入賞者は当該審判員が、トラック競技の入賞者はマーシャルが入賞者控所に誘導する。

13. 表彰について

- (1)各種目の表彰は第3位まで行うので、入賞者は決勝終了後、入賞者控所で待機し、係員の指示を受けること。
(2)入賞者の得点は、1位8点、2位7点、3位6点、・・・8位1点とする。

14. その他

- (1)大会期間中競技場で発生した傷害や疾病は医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
(2)更衣はメインスタジアム男子・女子更衣室を利用することができる。ただし、貴重品は各自で保管すること。今年は工事の関係でメイン側北側1階更衣室は使用できません。
(3)記録証の交付を希望する競技者は、陸上競技場本部の記録証交付係に記録証交付願及び交付料金500円を添えて申し込むこと。
(4)記録はメインスタンド2Fおよび招集場の2ヶ所の記録掲示板に掲示する。
(5)競技場内でテントを張れる場所は観客席芝生スタンドとバックスタンドの2階通路から上の場所に限る。横断幕・部旗・のぼり等については、メインスタンドを除く、バックスタンド2階通路より上、ただし個人名入りの横断幕等は禁止する。また、横断幕等で、スタンド通路(昇降)をふさがないこと。
(6)競技場及び競技場周辺に各学校のテントを張る場合は、指定された場所に張ってもよいが、その日の競技終了後必ず撤去すること。
(7)その他、詳細については監督会議で説明する。